

学級活動学習指導案（3年3組）

1 議題 修学旅行の句会をしよう

2 議題設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置付け

＜(1)ア 学級や学校における生活づくりへの参画＞

- ・学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

[知識及び技能]

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

[思考力、判断力、表現力等]

- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

②議題の価値

本議題では、多様な他者と協働する様々な集団活動の意義について、修学旅行について学級で振り返りを行うことで、互いの良さを認め合いながら一つの目標に向かって活動することの良さについて理解させることができる。また、学校行事を通してよりよい人間関係を築くための行動の仕方を身に付けることができる。さらに、人間関係の形成や日常生活の改善のために、学級として取り組むべきことを考え、解決のための行動を主体的に判断する力を高めることができる。

③学級活動の系統性

- ・本議題の前は、「修学旅行の部屋割りを決めよう」「修学旅行の新幹線の座席を決めよう」において、話し合うことを通して、話し合いの方法や合意形成の仕方を身に付けた。
- ・本議題の後には、「クラスの絆が深まる球技大会にしよう」において、主体的に集団生活を向上させようとする態度を高めていく。

(2) 生徒観（男子 17 名、女子 16 名 計 33 名）

①既習の学習内容や活動

- ・4月に行った「学級目標を決めよう」において、「出し合う・比べ合う・折り合う」の場面や合意形成の方法について共通理解を図った。
- ・修学旅行に向けて学習では、学級の垣根を越えて個人テーマに合った班を編成し、班別学習の行程や役割分担に話し合いを進めてきた。

②本単元に関わる生徒の実態

- ・知識及び技能では、ほとんどの生徒は、集団の中での役割や責任を自覚し、学級内での役割を分担し協力し合うことの良さを理解している。修学旅行に向けた学級会において、目的や人間関係に配慮しながら話し合う姿勢を身に付けている。しかし、新しいクラスに馴染めず学級への帰属意識が乏しいため、互いの良さを認め合いながら一つの目標に向けて活動することに価値や意義を十分に見いだせていない生徒も数名いる。
- ・思考力、判断力、表現力等では、集団生活の課題を見だし、解決するために話し合うことができる生徒が多い。しかし、学級に貢献するために、学級として取り組むべきことを考える力に欠けたり、必要な行動を主体的に判断できなかつたりする生徒が半数近くいる。

(3) 指導観

- ・修学旅行の全行程やスローガン等が決まった状況で話し合いを行うことで、しおりを活用し修学旅行の目的や意義を理解した上で学級の句会を計画できるようにする。
- ・修学旅行に向けてクラスで決めた部屋割りや新幹線の座席決め学級会について振り返る機会も設定させることで、球技大会に向けた取組を話し合う学級会に向けて実践意欲を高めることができるようにする。
- ・句会で写真やビデオを見ながら振り返りを行うための準備をしておくことで、思い出を想起させやすくしたり次への期待感を高めたりできるようにする。

- ・事前に句会で何をしたいかについて意見をまとめておくことで、「比べ合う」「折り合う」場面が充実した話し合いになるようにする。

3 議題の目標

修学旅行後の学級の振り返りとなる句会に向けて、自分にできることは何かを考え話し合う活動を通して、学級への所属感や連帯感を深めることができる。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

※別形式「指導と評価の計画」を作成

5 本時の展開 (1 / 1)

(1) 目標

修学旅行後の学級の振り返りとなる句会に向けて、自分にできることは何かを考え話し合う活動を通して、学級への所属感や連帯感を深めることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>議題：修学旅行の句会をしよう</p>	
<p>1 開会のことば 2 司会者・記録者の紹介 3 議題の発表・確認 4 提案理由の説明 5 教師の話</p>	<p>○計画委員会で検討された過程をについて助言することで、議題に関わる条件や気を付ける点を確認し、クラスで共通認識をもつことができるようにする。 ○提案理由に関する補足をすることで、学級への所属感や連帯感が深まるような話し合いになるようにする。</p>
<p>【提案理由】 私たちはこれから修学旅行に行きます。しかし、クラスで行動する時間がほとんどないため、思い出を共有することが難しいです。また、新しいクラスになりまだお互いのことをあまり知らない人もいます。そこで、旅行中の振り返りとして書く俳句を発表する「句会」を開き、それぞれの思い出をクラスで共有することで、お互いのことをさらに知れたり親睦を深めたりしたいと思い、この議題を提案しました。</p>	
<p>6 話し合い (1) 句会の中でクラスの絆を深める工夫。 ・しおりに書いた俳句を発表する句会にしよう。 ・写真や動画を見ながら即興で俳句を作ってみよう。 ・句会の後半はクイズも入れるともっと楽しくなるな。 ・旅行の思い出を川柳にしても面白そうだな。 (2) 役割分担はどうするか。 ・司会進行は次に担当する計画委員で行う。 ・優秀作品は学級新聞で紹介できるように新聞係に依頼しよう。 ・クイズ係が中心となってクイズの進行や計画をする。 ・写真や動画の視聴は先生にも協力を得ながら進めていく。 7 決定事項の確認 8 自己評価・振り返り記入 9 教師の話 10 閉会のことば</p>	<p>○事前に「何をするか」について黒板に短冊用いて貼っておくことで、「比べ合う場面」から話し合いができるようにする。 ○意見を「出し合う場面」「比べ合う場面」「折り合う場面」を意識して話し合いを進めさせることで、それぞれのよさを生かした合意形成ができるようにする。 ○これまでの修学旅行に向けた準備や昨年度の東京校外学習を振り返り、良かったことや改善すべき点などを考えさせることで、クラスにとってどんな活動をするのがよいかを考えられるようにする。 ○話し合いの方向性がずれそうなときは、提案理由や修学旅行の目的に戻るようにすることで、話し合いのねらいを意識しながら話し合いが進むようにする。 ○合意形成の際は、安易な多数決は避け、少数意見にもしっかりと耳を傾けるように助言する。</p> <p>【思考・判断・表現】 修学旅行を通してクラスの所属感や連帯感が高まるような句会を考えている。(観察・ワークシート)</p> <p>○話し合いの自己評価をすることで、実践意欲や次の話し合い活動への意欲を高めることができるようにする。 ○司会者・記録者の活動や合意形成を方向付けた発言などに称賛するとともに、今後の実践に向けて意欲的に取り組めるように助言する。</p>
<p><振り返り> ・学級生活をより充実させるために、今回決めた句会を実践し、最高の思い出をつくりたい。</p>	

<「思考力、判断力、表現力等」育成のための具体的な手だて>

(1) 次の活動や学級生活の改善につながる振り返りの場の工夫

指導と評価の計画 学級活動 3年 議題「修学旅行の句会をしよう」

目標	修学旅行後の学級の振り返りとなる句会に向けて、自分にできることは何かを考え話し合う活動を通して、学級への所属感や連帯感を深めることができる。				
評価規準	<p>【知識・技能】 修学旅行に向けて力を合わせて取り組むことが、集団活動の向上やよりよい人間関係の形成につながることを理解させるとともに、合意形成の手順を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 今までの学校生活を通して学級の課題を見いだし、それを踏まえた修学旅行の句会をどうするかについて話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図ることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 決めた修学旅行の句会に向けて活動を行いながら、他者と協働し日常生活の向上を図ろうとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価項目 (方法・観点)
つかむ	事前	◎学級をよりよくするために、修学旅行後に句会をするねらいや何を話し合うかについて理解することができる。	○計画委員会で事前に何をしたいかについて意見を集め、学級全体の傾向をつかむ。 ○計画委員会で話し合いの柱を決定し、学級で共有する。	☆クラスの絆を深めるために、修学旅行後の句会を思い出に残るものにしたいな。 ☆修学旅行の句会は、クラスの思い出を語り合ったりクラスで決めたことを振り返ったりするために話し合うのだな。	【知識・技能】 修学旅行の句会をするねらいや何を話し合うか理解することができる。(観察・ワークシート)
追究する	本時	◎修学旅行後の学級の振り返りとなる句会に向けて、自分にできることは何かを考え話し合う活動を通して、学級への所属感や連帯感を深めることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">修学旅行の句会をしよう。</div>	○充実した句会にするために、活動することを考える。 柱①句会の中でクラスの絆を深める工夫 柱②役割分担はどうするか。	☆クラスの絆深まるような活動を考え、具体的に実践する内容を考えられたからよかったな。 ☆学級生活をより充実させるために、今回決めた句会を実践し、最高の思い出をつくってきたいな。	【思考・判断・表現】 修学旅行を通してクラスの所属感や連帯感が高まるような句会を考えている。(観察・ワークシート)
まとめ	事後	◎修学旅行の句会でクラスの絆が深まるように実践し、他者と協働し日常生活の向上を図ることができる。	○自分たちで決めた仕事を協力しながら実践する。 ○修学旅行の写真を見せたり、生徒の感想を話したりして、振り返りを行う。 ○次の実践に生かせるようにアンケートを実施する。	☆話し合いで決めたことに責任をもって取り組み、クラスの絆を深められたな。 ☆修学旅行の思い出を共有できたことが楽しかったな。これからも協力しながらクラスのために頑張りたいな。	【主体的に学習に取り組む態度】 合意形成したことを基に友達で協力し、修学旅行の句会に意欲的に取り組んでいる。(観察・ワークシート)